



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月10日

上場会社名 オリオンビール株式会社 上場取引所 東  
コード番号 409A URL <https://www.orionbeer.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村野 一  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員副社長 (氏名) 亀田 浩 (TEL) 098(911)5232  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無 : 有  
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日～2025年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	23,570	—	5,367	—	4,181	—	4,015	—	3,496	—
2025年3月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 3,496百万円(—%) 2025年3月期第3四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	85.53	79.93
2025年3月期第3四半期	—	—

(注) 1. 2025年3月期第3四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、2025年3月期第3四半期の数値及び2026年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

2. EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却費

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	43,436	18,060	41.6
2025年3月期	50,875	18,968	37.3

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 18,055百万円 2025年3月期 18,962百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	90.00	90.00
2026年3月期	—	20.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に 帰属する当期純利 益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	29,683	2.8	5,750	10.1	4,160	19.6	3,957	14.8	3,472	△52.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 —社(社名) — 、除外 —社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期3Q	41,152,000株	2025年3月期	54,563,600株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	—株	2025年3月期	13,750,200株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年3月期3Q	40,883,571株	2025年3月期3Q	—株

(注)当社は、2025年3月期第3四半期については四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無  
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等の注記) .....	10
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	10

## 1. 経営成績等の概況

当社は、前第 3 四半期連結累計期間については四半期連結財務諸表を作成していないため、前年同四半期連結累計期間との比較分析は行っておりません。

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社は「沖縄から、人を、場を、世界を、笑顔に。」をミッションとし、魅力ある商品・体験を沖縄県民、観光客にお届けし、沖縄と共に持続的な成長を実現する「循環成長型ビジネスモデル」を掲げ、企業価値向上へ邁進しております。沖縄県内での酒類販売やリゾートホテルでのサービス提供を通じて、沖縄の魅力を価値として提供すると共に、県外・海外において沖縄を想起する施策を展開することで、ブランドロイヤリティを向上していくビジネスモデルを進めています。

当第 3 四半期連結累計期間（2025 年 4 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）における経営成績は、売上高は 23,570 百万円、営業利益は 4,181 百万円、経常利益は 4,015 百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、オリオンホテル那覇の譲渡に関連する特別利益 1,055 百万円の計上、及びそれに伴う法人税等の増加により、親会社株主に帰属する四半期純利益は 3,496 百万円となりました。

当社グループでは、酒類清涼飲料事業及び観光・ホテル事業の 2 つの事業セグメントを展開しております。各事業セグメントの内容及び業績は以下のとおりです。

#### 酒類清涼飲料事業

酒類清涼飲料事業は、ビール類を中心に展開しております。

当社が手掛ける「オリオン」は、沖縄に根差し共に成長を遂げた、沖縄を代表するビールブランドであり、「オリオン ザ・ドラフト」が主力商品となります。同商品は沖縄の大麦、水を使用し、温暖な気候に合わせたすっきりとした味わいが特徴です。また、県産のフルーツを豊富に使用した RTD（Ready to Drink：缶チューハイ等すぐに飲めるアルコール飲料）やフルーツワイン、沖縄の伝統的な蒸留酒である泡盛とその副産物を使用したもろみ酢等の製造・販売、並びに「オリオン」ブランドを活用した IP ビジネス等、沖縄と共に成長する「循環成長型ビジネスモデル」を強化することにより、沖縄県内、県外、海外に向け、魅力ある商品・体験をお届けしています。

酒類清涼飲料事業においては、県内の圧倒的ポジション確立、県外の持続的な成長、海外エリアでの販売拡大に向け、商品開発と販売力強化を図ってきました。その結果、当第 3 四半期連結累計期間における売上高は堅調な推移を見せ、18,922 百万円となり、原材料高騰の価格転嫁による粗利率の改善、販売費及び一般管理費の抑制により、営業利益は 3,408 百万円となりました。

#### 観光・ホテル事業

沖縄は豊富な観光資源とアジア諸国に近接する地理的優位性により、ハワイに匹敵する数の観光客が訪問する地域であり、観光客数・観光収入が増加傾向にあります。また、沖縄の自然を活かしたテーマパーク：ジャングルリア沖縄が 2025 年 7 月に開業したことにより、観光地としての魅力の更なる増大、観光客の滞在日数増加にも寄与する可能性を秘めています。

そのような中、観光・ホテル事業は、集客力の高い沖縄県北部のリゾートエリアに位置する「オリオン」の名を冠したオリオンホテルモトブ（本部町）を主軸に、創業の地である沖縄県北部を中心として、地域と連携し「オリオン」ブランドの経験価値向上と沖縄観光業の振興を図っております。

2025 年度においては、客室単価向上のためにレベニューマネジメントを強化し、ファミリー層をターゲットとした投資や、海外チャネルの強化によるインバウンドの取込みを積極的に行っております。中国の渡航自粛要請

による影響は限定的であり、台湾や韓国、欧米等からのインバウンド流入が好調に推移しており、また、ジャングリア沖縄開業に伴う宿泊需要の増加も寄与しています。その結果、ホテルの稼働率、客室単価の双方が前年同期を上回り、観光・ホテル事業の当第 3 四半期連結累計期間における売上高は4,647百万円、営業利益は780百万円となりました。

## (2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

### 資産、負債及び純資産の状況

当第 3 四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比較して7,438百万円減少し、43,436百万円となりました。主な要因は、配当金の支払等に伴う現金及び預金の減少3,956百万円、オリオンホテル那覇の資産売却等に伴う有形固定資産の減少4,271百万円になります。

負債につきましては、前連結会計年度末と比較して6,531百万円減少し、25,376百万円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少3,075百万円、前期末自己株式取得に係る源泉所得税の支払に伴う預り金等の減少2,055百万円、資産除去債務の減少580百万円によるものです。

純資産につきましては、前連結会計年度末と比較して907百万円減少し、18,060百万円となりました。主な要因は、当第 3 四半期連結累計期間における親会社株主に帰属する四半期純利益による増加3,496百万円、及び配当金支払による減少4,489百万円によるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月25日に公表いたしました2026年3月期の通期連結業績予想は下記の通り修正いたしました。詳細につきましては、本日公表の「2026年3月期通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2026年3月期通期 連結業績予想数値の修正 (2025年4月1日～2026年3月31日) (百万円・%)

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利 益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	30,106	5,520	3,945	3,788	3,306	81円01銭
今回発表予想 (B)	29,683	5,750	4,160	3,957	3,472	83円99銭
増減額 (B-A)	△422	230	214	168	166	—
増減率 (%)	△1.4	4.2	5.4	4.4	5.0	—

### (セグメント情報)

#### ①売上高

(百万円・%)

	酒類清涼飲料事業	観光・ホテル事業	全社又は消去	計
前回発表予想 (A)	24,456	5,649	—	30,106
今回発表予想 (B)	23,965	5,718	—	29,683
増減額 (B-A)	△491	68	—	△422
増減率 (%)	△2.0	1.2	—	△1.4

## ②営業利益

(百万円・%)

	酒類清涼飲料事業	観光・ホテル事業	全社又は消去	計
前回発表予想 (A)	3,494	462	10	3,945
今回発表予想 (B)	3,559	611	10	4,160
増減額 (B-A)	65	149	—	214
増減率 (%)	1.9	32.3	—	5.4

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,203	9,246
売掛金	2,789	3,422
商品及び製品	1,198	1,331
原材料及び貯蔵品	741	728
その他	237	496
貸倒引当金	△3	△0
流動資産合計	18,166	15,224
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	33,357	26,284
減価償却累計額	△16,403	△12,405
建物及び構築物（純額）	16,953	13,878
機械装置及び運搬具	20,357	20,507
減価償却累計額	△17,859	△18,052
機械装置及び運搬具（純額）	2,497	2,455
土地	8,536	7,433
建設仮勘定	165	220
その他	2,345	2,196
減価償却累計額	△1,662	△1,620
その他（純額）	682	576
有形固定資産合計	28,835	24,564
無形固定資産		
のれん	138	119
その他	641	590
無形固定資産合計	779	709
投資その他の資産		
投資有価証券	2,633	2,654
その他	628	451
貸倒引当金	△168	△167
投資その他の資産合計	3,093	2,937
固定資産合計	32,708	28,211
資産合計	50,875	43,436

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年 3 月 31 日)	当第 3 四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,121	957
1 年内返済予定の長期借入金	705	705
未払金	2,083	1,875
未払酒税	838	954
未払法人税等	3,318	242
賞与引当金	282	183
役員賞与引当金	29	15
その他	3,559	1,270
流動負債合計	11,938	6,205
固定負債		
長期借入金	16,361	15,975
繰延税金負債	1,507	1,573
役員退職慰労引当金	18	17
退職給付に係る負債	278	339
資産除去債務	662	81
長期預り金	951	993
その他	189	190
固定負債合計	19,969	19,171
負債合計	31,907	25,376
純資産の部		
株主資本		
資本金	378	420
資本剰余金	14,109	14,151
利益剰余金	15,475	3,482
自己株式	△11,000	—
株主資本合計	18,962	18,055
新株予約権	5	5
純資産合計	18,968	18,060
負債純資産合計	50,875	43,436



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年12月31日)
売上高	23,570
売上原価	11,139
売上総利益	12,431
販売費及び一般管理費	8,250
営業利益	4,181
営業外収益	
受取利息	3
受取配当金	66
持分法による投資利益	38
その他	82
営業外収益合計	191
営業外費用	
支払利息	198
その他	158
営業外費用合計	356
経常利益	4,015
特別利益	
固定資産売却益	846
資産除去債務戻入益	208
特別利益合計	1,055
特別損失	
固定資産除却損	8
支払負担金	27
特別退職金	17
特別損失合計	52
税金等調整前四半期純利益	5,018
法人税、住民税及び事業税	1,291
法人税等調整額	230
法人税等合計	1,521
四半期純利益	3,496
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,496

## 四半期連結包括利益計算書

## 第 3 四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	当第 3 四半期連結累計期間 (自 2025年 4 月 1 日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	3,496
四半期包括利益	3,496
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	3,496

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2025年6月20日開催の取締役会決議に基づき、自己株式13,750,200株の消却を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が11,000百万円、自己株式が11,000百万円それぞれ減少し、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が3,482百万円となり、自己株式の残高はありません。

(セグメント情報等の注記)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

I 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	連結財務諸表 計上額 (注)2
	酒類清涼飲料 事業	観光・ホテル 事業			
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	18,922	4,647	23,570	—	23,570
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,922	4,647	23,570	—	23,570
セグメント利益	3,408	780	4,189	△7	4,181

(注) 1 セグメント利益の調整額 7 百万円には、減価償却費の調整額△ 7 百万円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第 3 四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第 3 四半期連結累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

当第 3 四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)	
減価償却費	1,186百万円